

答

この事業は、乳児がいる家庭と地域社会をつなぐ最初の機会とすることにより、乳児のいる家庭の孤立化を防止しながら、健全な育成環境を確保することを目的としている。生後四カ月までの乳児がいるすべての家庭を訪問し、さまざまな不安や悩みを聞きながら子育て支援に関する情報の提供を行い、親子の心身状況、養育環境等を把握し、支援が必要な家庭に対しては、適切なサービスタツなげていくものである。

訪問する者は、保健師、看護師あるいは保育士の免許を有している者を予定しており、対象者数は約二百五十人と見込んでいます。

ごみ収集運搬処理業務委託について

問

- 一・車が入らない狭い道の粗大ごみ戸別収集方法について
- 二・委託料の増加について

答

- 一・住民の方は自宅の道路に面した場所へ出し、業者は狭い道でも収集に行く。
- 二・粗大ごみの戸別収集により、収集運搬業務の単価が上がった。また四月から実施する容器包装プラスチックの分別収集で中間処理業務が発生するため、約三千五百万円程度の増加を見込んでいる。

下水放流協力費について

問

伊予漁協に対して下水放流協力費が支払われていると思うが、いつ頃からどういう計算で支払われているのか。

また、金額は固定的になっているのか、定期的に見直しが行なわれているのか。

答

昭和六十一年に伊予市と伊予漁協の合意協定書に基づき、放流協力金が支払われている。支払い金額は梢川ポンプ場については、係長クラスの年俸の85%に未接続率を掛けた額とし、大谷・安広ポンプ場については、係長クラスの年俸の65%を掛けた額とし、今年度は梢川ポンプ場二百五十三万円、大谷・安広ポンプ場百六十一万円を計上している。協力金の金額改定は給与改定・下水未接続率の見直しを踏まえ、二年に一度見直しをすることにしている。

小・中学校の空調設備設置工事設計委託料について

問

- 一・すべての学校を対象に行うのか。
- 二・実施設計をどのように考えているのか。



空調設備のある港南中学校

答

- 一・小学校についてはエコ改修を行う翠小学校を除いた小学校八校、中学校については港南中学校を除いた四校での空調施設の設計業務委託等を考えている。
- 二・単年度で全小・中学校の空調施設の工事を実施するか、また数カ年に分けて順次設置するか、まだ決定していない。

設計委託により経費的な面をつかんでからという考えである。方針が決定したら、直ちに近い議会での補正を考えており、できるだけ早くやりたいというのは教育委員会としての立場である。

◆議会を傍聴しませんか◆
定例会は三月・六月・九月・十二月の年四回開催しており、どなたでも傍聴できます。
六月定例会の日程は、広報「いよし」六月号に掲載されますので御参照ください。

■訂正

第十一号（平成二十年二月一日発行）の議会だより七ページ、上から二段目の教育委員会事務局長答弁中、「三千三百三十五円」を「三十一万三千三百三十五円」に訂正をお願いするとともに、お詫び申し上げます。

